

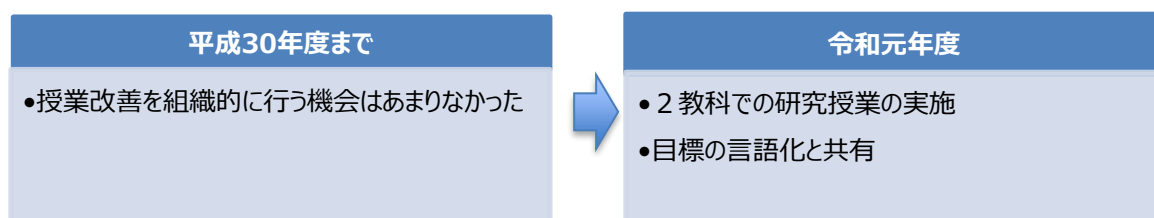
府立久米田高等学校の取組み

(1) 学校教育目標(めざす生徒像)

- 地域の第一線で頼りにされ、愛され、そして地域を支えていく「地域の星」となる人材を育成する。
- 教科指導および進路指導の強化、さらに部活動や学校行事を通して生徒の進路選択肢を増やし、将来幅広い分野で活躍できる人材を育成する。
- 自らを律し、他人に思いやりを持ち、何事にも誠実に取り組む態度を育成する。
- 共生推進教室の設置により、ノーマライゼーションを推進できる人材を育成する。
- 国際交流活動を通して、多様性を享受する能力を育成する。

(2) 主な取組みと組織体制の準備

- テーマ
 - ・ 令和4年度からの新教育課程をふまえた「めざす生徒像」を教員間で共有する。
 - ・ 学校全体の授業力の向上をめざし、教員間での意見交換の機会を増やす。



パッケージ研修企画チームを発足させ、校内研修会のテーマや内容について、時間をかけて検討して決定しました。

(3) 主な実践とその工夫

① 日々の授業や生徒について考える機会、雰囲気をつくる

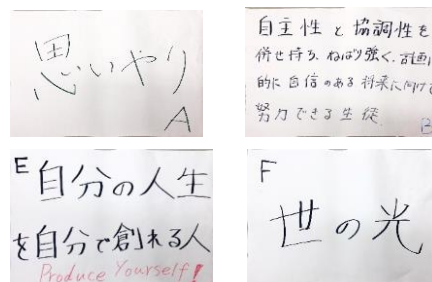
平成30年度まで授業改善を組織的に行う機会が少なかったため、校内全体で授業や生徒について考える雰囲気作りをすることが重要であると考えました。そこで、7月に「久米高星ってどんな星?～久米田の現状と課題の共有」と題して全体研修会を実施し、

- 生徒の現状を確認・共有すること
- 久米田の「めざす生徒像」を考えること
- 授業や授業以外の場面で、どのような取組みができるか考えること

を目的として、「めざす生徒像」やそれに向けた方策をグループで考えた後、全教員で共有しました。このように、「どのような生徒を育てたいか」という目標を言語化して教職員間で共有することで、授業改善に学校全体で取り組む意識を育み、意見交換の場を作り、他教科の授業実践について知るきっかけとしたのです。



校内全体研修の様子



各グループで考えた「めざす生徒像」(抜粋)

② テーマを明確にした研究授業を通して、学び合う

7月の全体研修を踏まえ、2学期には研究授業（9月に数学科、11月に公民科）を実施しました。なるべく多くの教職員が授業を見学できるように、2教科とも同じ単元の授業を3回ずつ実施しました。9月は「考えること」に重点をおいた授業の在り方について、11月は思考力・表現力を育む授業の在り方について、をテーマとして研究授業と研究協議を行いました。



11月の研究協議では、教科を越えて意見を交換できるように、各教科で意見をまとめた後、教科を越えて共有する時間を設けました。



協議で使用するために拡大した指導案

【9月の研究授業テーマ】
「考えること」に重点をおいた授業
※グループワークを通じた「学び合う場」作り
※発表を通じた「発信する力」の育成

【11月の研究授業テーマ】
「集中力の維持」「思考し、表現する」ことに重点をおいた授業
※1時間の授業を通して、集中力を維持する工夫
※要約・自分の意見の記述を通じた「思考力・表現力」の向上

【研究協議後の教職員向けアンケートでの意見】

- ・ペアワークやグループワークを積極的に取り入れるようになった。
- ・ICT機器の活用を始めた。
- ・生徒が発表する機会を増やした。
- ・生徒にどんな力を付けさせたいか、どんな生徒を育てたいか、意識して授業づくりをするようになった。
- ・生徒に考えさせる仕組みを意識して授業を組み立てるようになった。
- ・他教科からの刺激を得られ、工夫が広がった。

③ 1年間の授業改善に向けた取組を検証し、可視化する

教員の変容と生徒の変容のそれぞれの観点から、授業改善に向けた取組の検証を行いました。学校教育自己診断の「他教科を含む教員の間で、授業見学や授業方法の意見交換などを行い、教育力の向上に取り組んでいる」との設問について、「よくあてはまる」と回答した教職員の割合が昨年度よりも大きく上昇しました。

【教員の変容】	平成30(2018)年度	→	令和元(2019)年度
よくあてはまる	1.5%		18.5%
ややあてはまる	42.4%		35.4%

また、生徒向け授業アンケートにおいても、下表に示した5項目の平均値が上昇しました。この結果から生徒は授業を肯定的に捉え、前向きに取り組んでいる様子が読み取れます。

質問項目	平均値の変化
授業に興味・関心を持つことができたと感じている	0.06 上昇
授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている	0.05 上昇
先生は毎時間、授業の目標や大切なポイントを説明してくれる	0.03 上昇
先生はプリント等の教材やICT機器を効果的に活用している	0.04 上昇
生徒が自ら考える時間や発表する活動を多く取り入れている	0.14 上昇

以上の結果より、校内全体研修で考えた「めざす生徒像」の実現に向けた授業が実践され始めており、授業作りに向けて、教員の意欲が向上していることや、他教科との意見交換が増えていることが考えられます。組織的な授業改善の取組み1年めとして、久米田高校は、好スタートを切っています。